

八代の日本遺産のことはご存じですか？
今回は、日本遺産の魅力を発信する活動に
取り組む皆さんを紹介します。

八代を創造した 石工たちの軌跡



表紙写真提供：大石 誠さん

～石工の郷に息づく 石造りのレガシー～



⑦鹿路橋 ⑧笠松橋 ⑨赤松第一号眼鏡橋

ストーリー③
石工たちの技の結晶 -めがね橋-



①水島 ②八代城跡 ③美生地区の生姜棚田

ストーリー①
育まれてきた「石工の郷」の風土



⑩ひねり灯笼(若宮神社) ⑪女相撲 ⑫大鞘節・大鞘名所(写真は芝口大鞘節)

ストーリー④
石工の活躍がもたらした豊かさ



ストーリー②
干拓によってもたらされた平野
-干拓事業と石工の活躍-

④八代平野 遠景 ⑤大鞘樋門群(写真は殻樋) ⑥旧郡築新地甲号樋門



八代の「宝」から「日本」の宝へ

令和2年6月19日、市内に残るめがね橋や干拓樋門など、石造りの文化に関する構成文化財25件を物語として紡いだストーリーが日本遺産に認定されました。

日本遺産を構成する4つのストーリー

八代の人々は、良質な「石灰岩」などが採れる環境を活かし、古来より石材を活用したまちづくりを行ってきました。本市のランドマークである「八代城」の石垣に代表される石造建築物の数々は、石工の郷の風土が育まれていることを物語っています。

石工たちの活躍は、八代平野の3分の2をしめる干拓事業でも見ることができます。巨石を用いて強固に築かれた「大鞘樋門群」に代表される干拓樋門や、干拓地を潤す水路の築造に貢献しました。

そうして磨き上げられた技術の結晶が市内に46基ある「めがね橋」です。小さきまなめがね橋の数々は、今なお優美さと強健さを備え、地域の人々に愛されています。

石工たちが活躍した干拓事業は、大鞘節や棒踊り、女相撲といった個性豊かな文化をもたらし、その多様で独自の文化はまことにぎわいを与え続けています。八代の日本遺産は、こうした石工たちが築きあげた石造物や石材を切り出した八代海に浮かぶ島々、干拓地で生まれた民俗芸能など、4つのストーリーから成り立っています。

未来へ繋ぐ取り組み

八代の地に今なお残る、卓越した技術で築かれた遺産の数々。脈々と受け継がれてきた石工たちの活躍を描いた認定ストーリーを核とし、魅力や価値ある商品として発信していく取り組みがはじまりました。



構成文化財を探す
Google map



HP
日本遺産
「石工の郷 八代」

《問い合わせ先》
文化振興課 ☎33-4533



「石の甘味」 琥珀糖で開発・販売 パティシエたけみ 竹見浩司さん

「パティシエたけみ」は、祖父が始めて私で3代続くお菓子屋です。普段は、ケーキ、焼き菓子、和菓子などを販売しています。最近では、氷室祭で雪餅を販売しました。

今回、知り合いに「面白い企画があるから参加してみたら」と石工の郷八代プロジェクトを紹介され、「石」に関するお菓子を作れたらと思いつきました。当初は、パイやクッキーで石を表現しようか、饅頭がいいだろうかと悩む日々で、砂糖と寒天を原料にした日本の和菓子である「琥珀糖」にたどり着くまでに1ヵ月かかりました。琥珀糖に決めてからも、この色は竹炭を出しているのですが、石らしくみせるのに試作を何回も繰り返したり、商品化できるまでになりました。琥珀糖をいれる容器にもこだわり、石垣に似た容器を選びました。



「石の甘味」は、自然乾燥で外側を乾燥させ結晶化させており、外はシャリッと硬く、中は柔らかい独特の食感です。固まるまでの時間が季節で左右されるため、作るのに10日から2週間程度かかります。

昨年の11月から販売を始め、購入された人は、「本当に石みたい」と驚かれたり、「石(石の甘味)を食べて友達をびっくりさせよう」という人もいました。今のところ、常時販売はしておらず、電話で問い合わせいただき、その時商品がなければ少しお待ちいただくこととなります。

琥珀糖に限らず、みんなが集まる楽しい場所に欠かせないのがお菓子だと思えます。これからもひとつひとつ丁寧に、材料にもこだわりのながら、皆さんに喜ばれるようなお菓子を作り続けていきたいと思えます。



パティシエたけみ 八代市古閑上町9 ☎0965-31-5269
「石の甘味」の問合せ 火曜から金曜(13:00~17:00)



名産、伝統 石工が八代にのこしたものの

～石工の郷八代プロジェクトで繋ぐ思い～

本市では、日本遺産の認定を受け、今後もこの素晴らしいストーリーの魅力を広めるため、「石工の郷八代ブランディング戦略」をはじめました。

今回は、その中の事業のひとつ「石工の郷八代プロジェクト」を紹介します。



フォトジェニックな日本遺産カレンダー
(社)DMOやつしる



彫刻屋 熊本プラスト
(天然石コースター)
有林田石材

石工の郷 八代
日本遺産VER
ご当地めんべい開発事業
(株)東陽地区ふるさと公社
※現在開発中。未販売



石工の郷フットパス&ツーリングMAP in 東陽
有ピーエス広告社 フットパスモニターツアーの様子



ガイドと行く
「石工の郷」満喫ツアー
やつしる観光ガイド協会

日本遺産石橋ガイド 中学生ボランティア育成事業



後村 新一 会長(左)、橋永 高德 副会長(右)

中学生ガイドを育成

石工たち(種山石工)の活躍が日本遺産に認定されたのをきっかけに、町の魅力を発信する取り組みとして、東陽まちづくり協議会など地域住民、学校、行政が連携して、日本遺産石橋ガイド中学生ボランティア育成事業に取り組みました。この事業は、東陽町に点在する石橋や町の魅力を生徒がガイドするもので、令和4年10月のしょうが祭の日に18人の生徒がガイドデビューしました。現在まで県内外から延べ117名のツアー参加がありました。ガイドを



中学生ボランティアガイド発足式

務める子どもたちが、地元の遺産に関心を持ち、誇りに思う様子が端々にうかがえるので、この取り組みを始めてよかったですと実感しています。今後は、先進地である天草の崎津集落と子どもたち同士の交流を行うなど、これからもこの取り組みが継続できるよう協議会としても様々な支援をしていきたいと考えています。

東陽中の皆さんへ インタビュー



東陽中学校3年生、左より
①宮聖菜さん、②村煌大さん、③原真緒さん

本 ボランティアガイドに参加しようと思ったきっかけを教えてください
ボランティア活動に興味があり、東陽町の魅力を発信するためにこの活動に参加しました。

上 活動に向けて、事前にどんな準備をしていますか
放課後や昼休みに集まり、石橋や石工について自分たちで調べたり、地域の人に話を聞いたりしてフリックを作成しています。実際に現地へ行ってリハールなどしています。

上 コースの中で一番盛り上がる場所はどこですか
若宮神社で「ひねり灯籠」の由来や特徴の説明をしている時に、造り方をよく聞かれます。石を削ってこの形にしていると話すと、みんな驚かれます。

澤 ボランティアガイドに参加したこと、東陽町に対する考えに変化がありましたか
ガイドに参加したことで東陽町にガイドをしていると、東陽町のことを褒められるので、改めて東陽町はすごい町なんだなと思いました。
本 今後、石工の郷東陽町をどんなまちにしていきたいですか
東陽町の歴史を知り、実際に来て楽しんでもらうことで、東陽町にぎやかな町にしていきたいです。



上 ガイドをしていてよかったと思うことを教えてください
ガイドが終わった時の達成感と、参加したお客さんが来てよかったと言ってくれる時です。ホームページで活動を知って四国から参加していただいたこともあります。
澤 ガイドに参加したことで東陽町に対する考えに変化がありましたか
ガイドをしていると、東陽町のことを褒められるので、改めて東陽町はすごい町なんだなと思いました。
本 今後、石工の郷東陽町をどんなまちにしていきたいですか
東陽町の歴史を知り、実際に来て楽しんでもらうことで、東陽町にぎやかな町にしていきたいです。

私たちが案内します
ツアー申込受付中!



中学生ボランティアガイドの皆さん

石匠館
八代市東陽町北98-2
電話65-2700

日本遺産石橋ガイド

東陽中学校の生徒が石橋やひねり灯籠などの日本遺産構成文化財を楽しくガイドします。

- ◎毎月第1日曜日開催 (AM 9:00、10:00、11:00スタート)
- ◎事前予約制 (前週の金曜日締切)
- ◎1.2kmもしくは2.2kmのコースを歩いてガイド
- ◎東陽石匠館集合出発 (館内見学は観覧料が必要)
- ◎費用無料 (雨天の場合は中止)

申込先 東陽まちづくり協議会事務局 65-2210

令和5年 日本遺産を盛り上げよう

『石工の郷 八代プロジェクト<#石プロ>』

本市の日本遺産のストーリーを活用し「石工の郷 八代」の魅力を発信する事業に取り組んでいただく企業、団体、事業者、個人の方々を幅広く募集します。

- 実施期間 採択を受けた日から令和6年2月29日まで
応募資格 熊本県内に事務所などがある企業・事業者または熊本県内に在住する個人
応募部門 1、商品部門：ご当地グルメ、お土産品などの商品化・販売(上限10万円)
2、体験部門：イベント、体験コンテンツ・ツアーなどの企画・開催(上限10万円)
3、自由部門：1・2に該当しない取組(上限50万円)
応募締切 7月21日(金曜日) ※当日消印有効
応募方法 下記へ持参または郵送
石工の郷八代プロジェクト 事務局(八代市日本遺産活用協議会) 宛
〒866-8601 八代市松江城町1-25 文化振興課
問合せ イデアパートナーズ株式会社
電話番号:092-739-6080



詳細はこちら

『石工の郷 八代プロジェクト<#石プロ>』説明会を開催します!

日時：【第1回】令和5年7月5日(水) 19:00~20:00
【第2回】令和5年7月6日(木) 13:00~14:00
場所：市役所 本庁舎 3階 301会議室



めがね橋をはじめとする石造建築物の需要は時代とともに減少し、造り替えにより日本各地から姿を消しました。しかし、八代では干拓樋門やめがね橋など、多くの石造物が百年たった今も地域に根付き、人々に大切に受け継がれ、各地で生き続けています。それらは近代化する日本の足元を支えた石工たちの活躍の歴史を今に伝えています。この機会にちょっとお出かけして、石工たちに思いを馳せてみませんか?